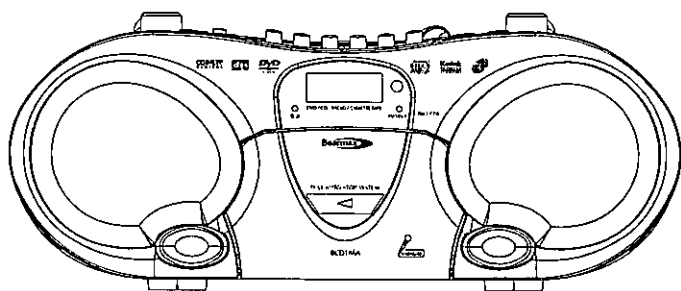
取扱説明書

DVDラジカセ

商品型番：

ビー・シー・ディー　エス
BCD186S

ビー・シー・ディー　エー
BCD186A 簡単カラオケセット

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

株式会社クマザキエイム

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると、
火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る。

4~8ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

●定期的に点検する。

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

●故障したら使わない。

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐ総発売元株式会社クマザキエイムへ修理をご依頼ください。

●万一、異常がおきたら...

①電源を切る。
②電源プラグをコンセントから抜く。
③株式会社クマザキエイムに修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。

⊘ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

ご使用になる前に

基本的な操作

便利な機能

製品の詳しい情報

安全上のご注意

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

禁止

●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないこと。自動車、船舶などの直流電には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

●禁止
ACコードを傷つけないこと。コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

禁止

●禁止
DVDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

水ぬれ禁止

●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

禁止

●禁止
内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものを入れないこと。火災・感電の原因となります。

ぬれ手禁止

●ぬれ手禁止
ぬれた手でACコードの抜き差しをしないこと。感電します。

禁止

●禁止
本体背面の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指示

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因となります。

指示

●乾電池は同一の新品を使用
仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●禁止
ぐらついた台や傾いた所に置かないこと。 落下しケガ･故障の原因になります。

●禁止
温度の異常に高い場所で使用しないでください。 通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災･故障の原因になることがあります。

●禁止
調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災･感電･故障の原因になることがあります。

●禁止
駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しないでください。 樹脂部品の変形の原因になります。

●ACアダプターをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

●乾電池を取り出す
長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。万一の液漏れによる故障を防ぎます。

●禁止
電源を切る前には音量を下げること。再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

ご使用の前に

本機の概要

●本機は以下のディスクおよび音楽ソースに対応しています。記録方式によっては再生できない場合もあります。
・ DVD（片面/両面）（一層/二層）
・ VCD・CD・MP3・ラジオ・カセットテープ

本機で再生できるディスクの種類

●本機は以下のディスクをアダプター無しで再生できます。

DVD VIDEO　DVD AUDIO　DVD-RW　DVD-R

CD　VIDEO CD　CD-R

※ビデオモードで記録したDVD-RWディスク（Ver1.1）・DVD-Rディスク（Ver2.0）は再生可能です（ピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーとの相性によって、再生できない場合があります。またビデオレコーディングフォーマットで記録したディスクは再生できません）。
※DVD-RW・DVD-RはDVDディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。

●DVDビデオのリージョン番号（地域番号）について
・発売地域ごとにDVDビデオのソフトと再生機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。（本機のリージョン番号は「2」です）
・本機は「2」、「ALL」、「2」を含むものが表示されたDVDビデオを再生できます。
●本機で再生できないディスク
・本機のDVDプレーヤーではDVD-ROM・DVD-RAM・DVD+RWは再生できません。
●コピーコントロールCD
・本機のDVDプレーヤーでは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。
●JPEGの再生
・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではコダックピクチャーCD、またはCD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます（記録方式によって再生できない場合があります）。
・ISO9660レベル１・レベル２のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・JPEGファイルには“.jpg”“.JPG”の拡張子がつきます。

●MP3の再生
・MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー３という形式で圧縮した音楽データです。
・ISO9660レベル１、レベル２のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・MPEG1オーディオレイヤー３のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、48kHzで記録されたファイルに対応しています。これ以外で記録されたファイルは再生できません。
・可変ビットレートには対応していません。
・“mp3”または“MP3”の拡張子がついていないファイルは再生できません。（拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類をあらわす文字です。）

DVD・CDに表示されているマークについて

●DVDやCD-Rのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像や音声のタイプ・機能をあらわしています。

DTS デジタルサウンド　ドルビー デジタルサウンド　アングル数

●DTSデジタルサウンド
DTSとはデジタルシアターシステム（Digital Theater System）の略で、5.1chのデジタルサラウンドの録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式です。DTSデコーダーを搭載した機器と接続するとDTSの音声を楽しめます。
●ドルビーデジタルサウンド
DVDの標準音声タイプのことで、モノラルやステレオで記録されているソフトであれば、5.1chサラウンドで記録されているものもあります。ドルビーデジタル（5.1chサラウンド）で記録されているソフトでは、それぞれ５つのチャンネルごとに音声が記録されていて、サブウーハーから出力される低音も記録されています。本機を5.1chプロセッサーつきAVアンプと接続することにより、臨場感あるマルチチャンネル再生を楽しむことができます。
●アングル
複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルを変えて見ることができます。中の数字はアングル数を表しています。
●本機のDVDプレーヤーはDVDフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。
DVDマークは、DVDビデオディスクの統一マークです。

discマークは、音楽用CDの統一マークです。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY・ドルビー・およびダブルDマークはドルビーラボラトリーズの商標です。DTS・DTSデジタルサラウンドはデジタルシアターシステム社の登録商標です。DVDは商標です。

●ディスクに関する用語について
一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD/音楽用CDは「トラック」で区切られています。

【タイトル】
DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

【チャプター】
タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

【トラック】
ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。
それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。ディスクによっては各々の番号が記録されていないものもあります。

本機の取り扱いについて

●極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
●窓を閉め切った自動車内での放置はしないでください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取り扱い上のご注意

<ディスクの取扱いかた>
■再生面には手をふれないでください。

<ケースから出すとき>

センターホルダーを押さえ…

再生面に触れないように持って取り出します。

<ケースにしまうとき>

<ディスクの保管のしかた>
■直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
■ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

<本機を持ち運びするときは>
■ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上のご注意

●シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
●ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

●ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

●ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

●再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。
●CD-R/CD-RWに記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。
●コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

(カセットテープの取り扱いについて)

●再生中に音が鈍くなった時は、まれに酸化物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングテープのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので、使いすぎにはご注意ください。

●先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。

●テープがからまると、充分な速度で再生できません。たるんでいる場合は、下図のように鉛筆などで直してからご使用ください。

●テープの巻きつきがきついと感じるときは、テープの窓の線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送り、巻き戻ししてください。

●テレビやスピーカーなど、磁気のそばにテープを置かないでください。磁気はテープの感度を下げ、録音を消す恐れがあります。

●温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。

※60分以上の長時間テープはご使用にならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが機械に巻き込まれる場合があります。

(電池についての安全上のご注意)

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

危険

※乾電池が液漏れしたとき

・乾電池の液が液漏れしたときは素手で液をさわらないでください。

・液が内部に残ることがあるため、総発売元株式会社クマザキエイムにご相談ください。

・液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので、目をこすらずすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

・液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告

・小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。

・機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。

・火の中に入れない。分解、加熱しない。

・コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。

・液漏れした電池は使わない。

・新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

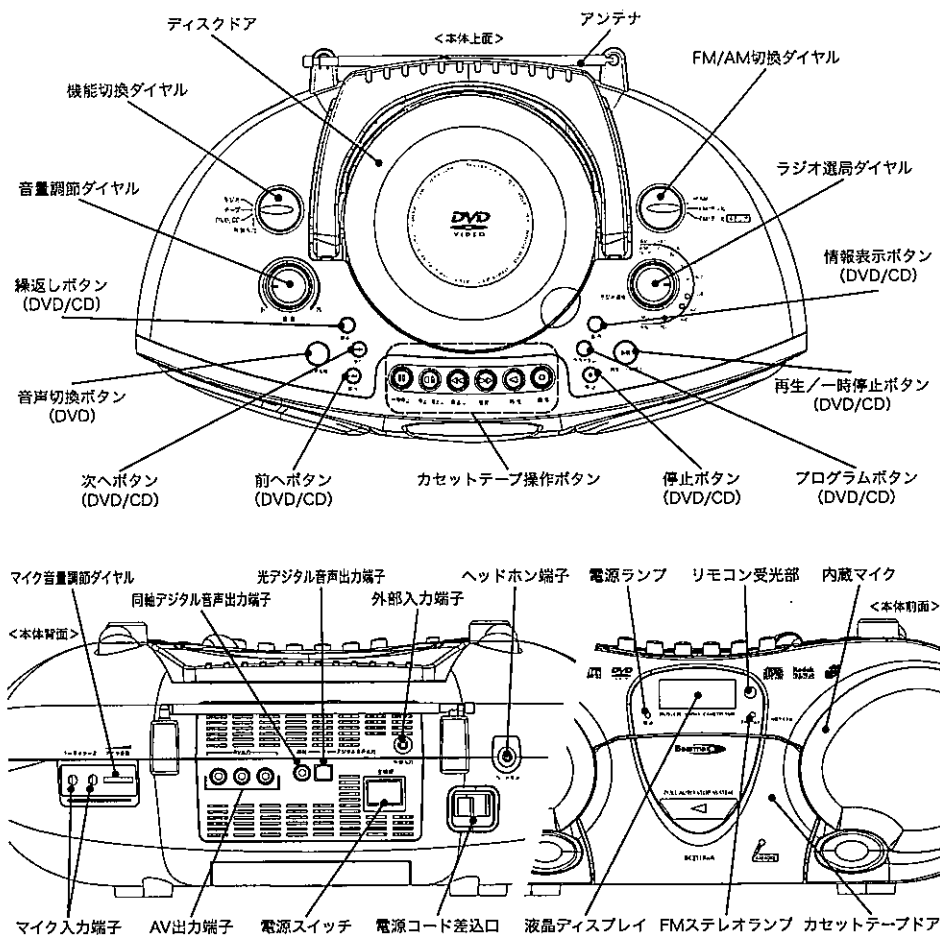
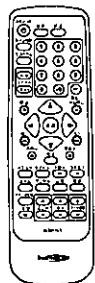
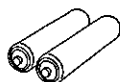
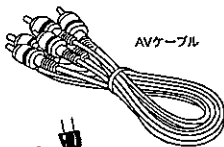
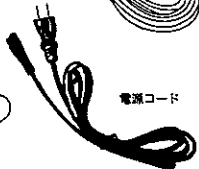
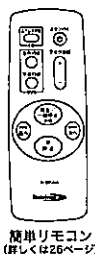
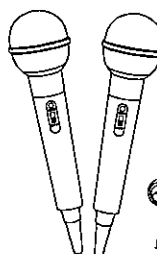
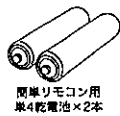
⚠ 注意

・火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

・外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。

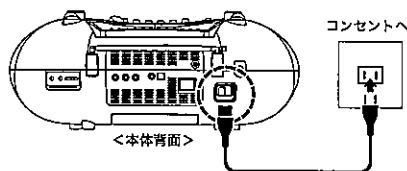
・指定された種類以外の電池は使用しない。

ディスクドア
<本体上面>
アンテナ
FM/AM切換ダイヤル
機能切換ダイヤル
ラジオ選局ダイヤル
音量調節ダイヤル
情報表示ボタン
(DVD/CD)
繰返しボタン
(DVD/CD)
再生／一時停止ボタン
(DVD/CD)
音声切換ボタン
(DVD)
次へボタン
(DVD/CD)
前へボタン
(DVD/CD)
カセットテープ操作ボタン
停止ボタン
(DVD/CD)
プログラムボタン
(DVD/CD)

マイク音量調節ダイヤル
光デジタル音声出力端子
同軸デジタル音声出力端子
外部入力端子
ヘッドホン端子
電源ランプ
リモコン受光部
内蔵マイク
<本体背面>
<本体前面>
マイク入力端子
AV出力端子
電源スイッチ
電源コード差込口
液晶ディスプレイ
FMステレオランプ
カセットテープドア

フルリモコン
(詳しくは20ページ～)
AVケーブル
フルリモコン用
単4乾電池×2本
電源コード

枠内の付属品は、商品型番「BCD186A」にのみ含まれております。
ダイナミック
マイク×2
簡単リモコン
(詳しくは26ページ)
簡単リモコン用
単4乾電池×2本

準備と接続方法

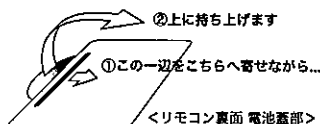
本体の電源を用意する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。

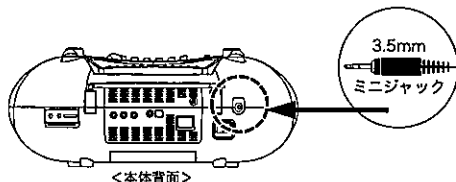
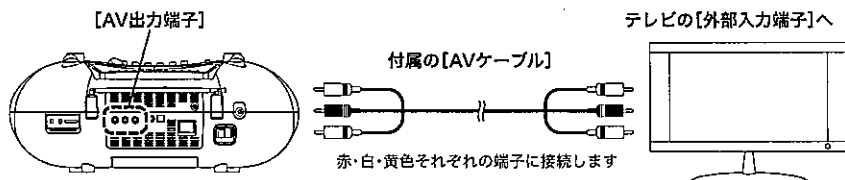
●電源コードを接続する
付属の電源コードを（本機の電源コード差込口）へ差し込んだあと、もう一方を壁のコンセントへ差し込んでください。

●本機に乾電池を使う
乾電池をお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。
1. 本機底面にある乾電池カバーを、矢印の方向にスライドさせてカバーを開けます。
2. 単2型乾電池8個（市販品）を、＋プラス/－マイナス表示の通り正しく入れます。
3. 電池ケースカバーを元に戻します。

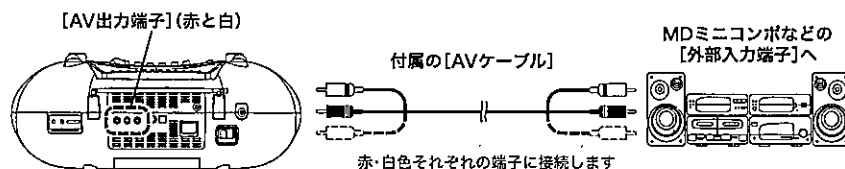
> ひとこと
> ・本機に充電電池はご使用になれませんのでご注意ください。
> ・DVDを再生するとき、カセットテープを録音するときは、電力消費が大きいため電源コードを接続してお使いください。

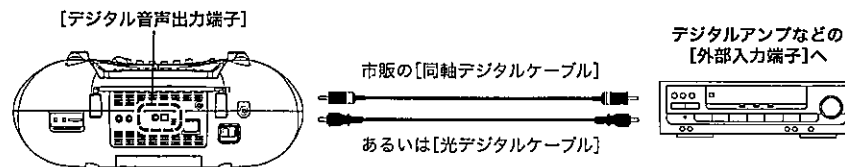
リモコンに電池を入れる

1. 電池ケース蓋の一辺を矢印の方向へ持ち上げるようにして蓋を開けます。
2. 単4乾電池2個を＋プラス/－マイナス表示の通り、正しく入れます。
3. 電池ケースカバーを元に戻します。

> ひとこと
> ・電池が消耗してくると、リモコン操作できる距離が短くなります。電池をすべて新しいものに交換してください。

ヘッドホン（市販品）を使う

お手持ちのヘッドホンやイヤホンを、本機のヘッドホン出力端子に接続してお使いいただけます。

テレビと接続する

ひとこと ・モノラルテレビに接続する時は、それぞれ赤のケーブルは繋がないでください。

オーディオアンプなどと接続する

ひとこと ・映像をご覧になる時は、本機の[AV出力端子]の映像端子(黄色)とテレビの映像入力端子を接続してください。

デジタルアンプなどと接続する

ひとこと
・映像をご覧になる時は、本機の[AV出力端子]の映像端子(黄色)とテレビの映像入力端子を接続してください。
・光デジタルケーブルと同軸デジタルケーブルはどちらか一方のみをご使用ください。

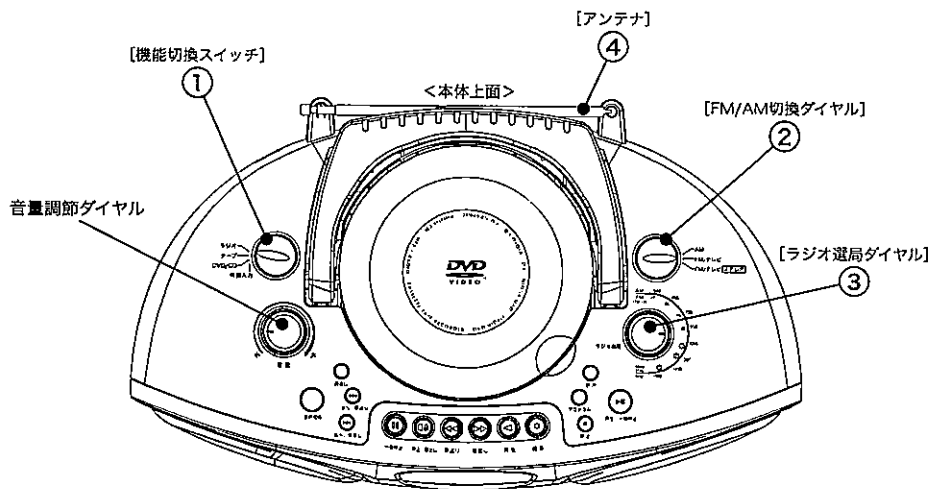
ひとこと
・テレビや外部機器との接続は、本体背面の電源スイッチを切った状態で行ってください。
・カセットテープとラジオ、外部入力の音声は、外部へ出力できません。
・接続先の機器の取扱説明書もよくご覧ください。
・本体背面の開孔を塞がないようご注意ください。本体内に熱がこもり、故障の原因となります。

ラジオを聴く

① 本体の[機能切換スイッチ]を「ラジオ」に合わせます。

② [FM/AM切換ダイヤル]で、「FM」、「FMステレオ」または「AM」を選びます。

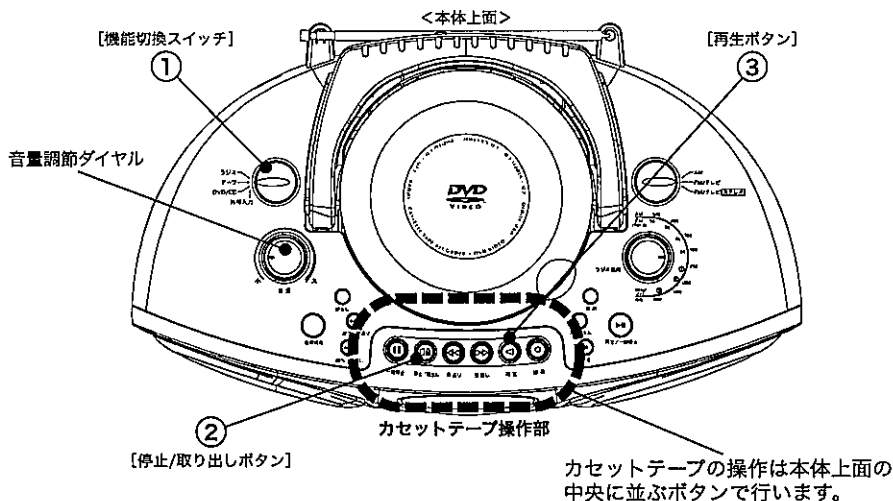
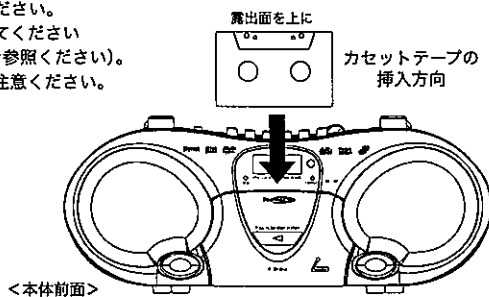
③ [ラジオ選局ダイヤル]で聞きたい放送局に周波数を合わせます。

④ [アンテナ]や本体を動かして、受信状態の良い方向にあわせます。

ひとこと
・本機はFMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。
　AM/TVのステレオ放送はモノラルになります。
・ステレオ放送を受信したときに、本体前面の［FMステレオランプ］が点灯します。

① 本体の[機能切換スイッチ]を「テープ」に合わせます。

② [停止/取り出しボタン]を押してカセットテープのドアを開きます。
テープ露出面を上にしてカセットデッキにテープを入れ、ドアを閉じます。

③ [再生ボタン]を押すと再生が始まります。

カセットテープの操作は本体上面の
中央に並ぶボタンで行います。

ひとこと
・60分を越える長時間テープは、絡みや故障の原因となりますので使用しないでください。
・定期的にヘッド部の掃除を行ってください（27ページ お手入れの仕方 をご参照ください)。
・カセットテープの挿入方向にご注意ください。

DVDを観る／CDを聴く

① [ディスクドア]を開け、ディスク(DVDやCD)をセットします。

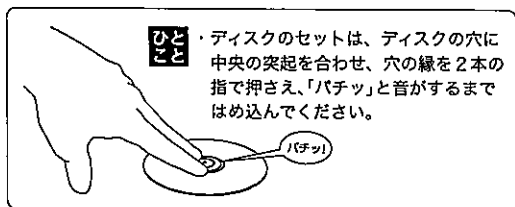
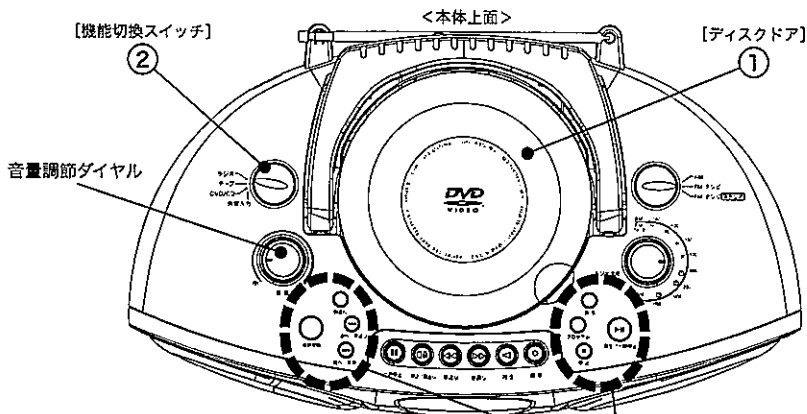
② 本体の[機能切換スイッチ]を「DVD/CD」に合わせます。

③ ディスク情報の読み込み(数秒間)が終わると、自動的に再生を始めます。

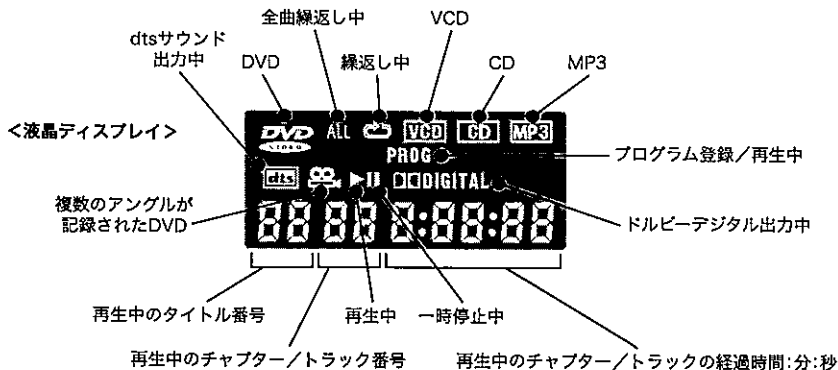
<本体上面>

[機能切換スイッチ] ②

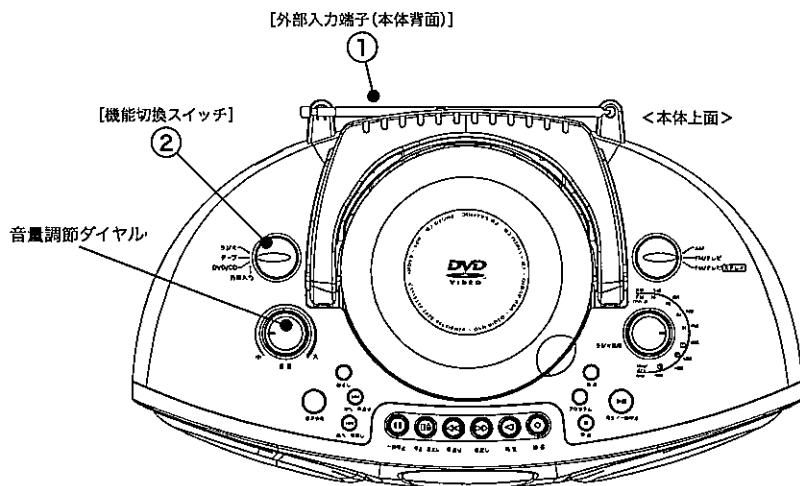
[ディスクドア] ①

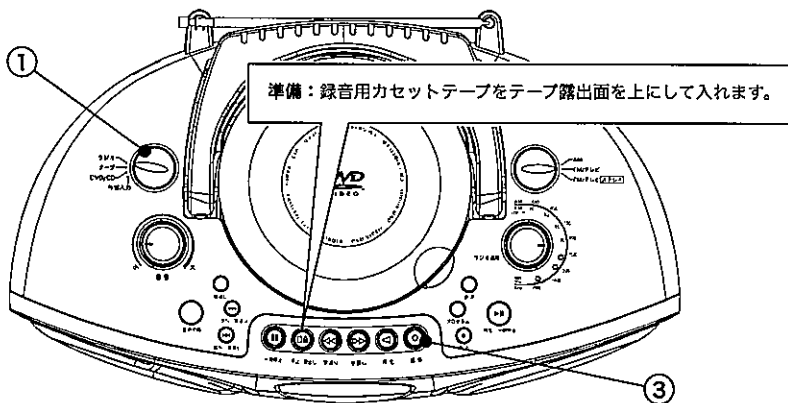
音量調節ダイヤル

DVDやCDの操作は本体上面の左右に並ぶボタンで行います。
(より便利な操作はリモコンを使います。詳しくは20〜24ページをご覧ください。)

ひとこと ・ディスクのセットは、ディスクの穴に中央の突起を合わせ、穴の縁を2本の指で押さえ、「パチッ」と音がするまではめ込んでください。

パチッ!

① 携帯音響機器などを本体背面の[外部入力端子]に接続します。

② 本体の[機能切換スイッチ]を「外部入力」に合わせます。

③ 接続した機器を再生します。

ひとこと ・接続した機器の、出力レベルを上げすぎないようご注意ください。

カセットテープに録音する（マイクから／ラジオから）

ラジオから録音する

① 切換スイッチをラジオに合わせます。

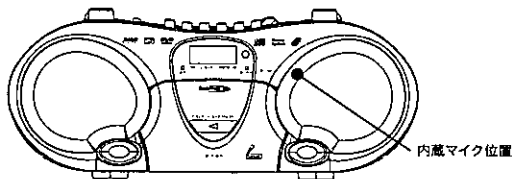
② ラジオ選局ダイヤルで録音したい局に合わせます。

③ 録音ボタンを押すと録音が始まります。

マイクを使って録音する

① 本体の切換スイッチをテープに合わせます。

② 付属のマイクを使う場合は、背面のマイク端子に接続します。

③ 録音ボタンを押すと、本体内蔵のマイクまたは接続されたマイクを
通した音声が録音されます。

DVD／CDから録音する

① 切換スイッチをDVD/CDに合わせます。ディスクドアを開けてディスクをセットします。

② ディスク再生中にDVD/CDの再生/一時停止ボタンを押し、一時停止状態にします。

③ 録音ボタンを押したあと、ディスクの一時停止を解除すると録音を開始します。

外部入力から録音する

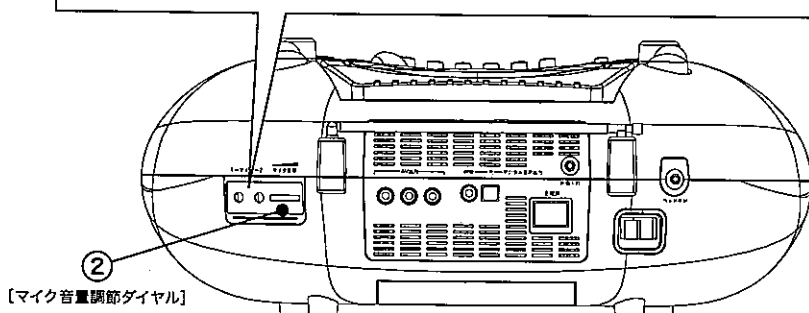
① 切換スイッチをラジオに合わせます。

② 外部機器を背面の外部入力端子に接続し、録音したい曲を再生します。

③ 録音ボタンを押すと録音が始まります。

・録音中音量を変えても録音される音は変わりません。
・録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
・TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。
・60分を越える長時間テープは、絡みや故障の原因となりますので使用しないでください。
・テープのツメが折れていないことを確認してください。
折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。

マイクを使ってカラオケを歌う

準備：マイクのジャックを、本機のマイク1入力端子もしくはマイク2入力端子に差し込みます。

［マイク音量調節ダイヤル］

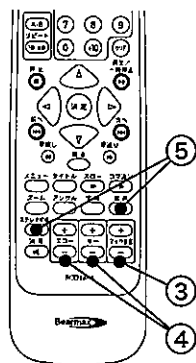
DVDやCDでカラオケを楽しむ

① ディスクをセットし、お好みの曲を再生します。
（ディスクの再生方法は、14ページをご参照ください）

② ［マイク音量調節ダイヤル］でマイク音量を調節します。

③ リモコンの［マイク音量調節ボタン］でも音量を変えられます。

④ リモコンの［エコー量調節ボタン］［キー調節ボタン］を押して、エコー量やキーを調節します。

⑤ カラオケディスクのボーカル入／切は、リモコンの［音声ボタン］（DVD）、または［ステレオ切換ボタン］（VCDなど）で切換ができます（ディスクによって切換ができない場合があります）。

カセットテープでカラオケを楽しむ

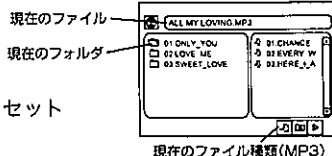
① カセットテープをセットし、お好みの曲を再生します。
（カセットテープの再生方法は、13ページをご参照ください）

② ［マイク音量ダイヤル］でマイク音量を調節します。

ひとこと ・カセットテープでは、エコーやキー調節の機能は使えません。

MP3ファイルの再生

本機はCD-RやDVD-Rに保存したMP3ファイルを再生できます。

現在のファイル
現在のフォルダ
現在のファイル種類(MP3)

① 本機をテレビに接続し、MP3音楽を保存したディスクをセットすると、右図の操作画面が表示されます。

② 再生したいフォルダをリモコンの[方向ボタン]で選び、[決定ボタン]を押します。

③ 選択したフォルダのトラック名が表示されます。再生したいトラック名を選び、[決定ボタン]を押すと再生が始まります。

④ [前へ／次へボタン]を押すと次のトラックもしくは前のトラックにスキップ再生します。

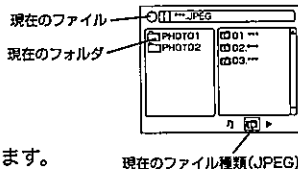
⑤ [１曲/全曲リピート再生ボタン]を押すと、下記の通り再生パターンが変わります。

- リピート[リピート１曲]：１つのトラックのみリピート再生します。
- リピート[フォルダ]：フォルダ内の全てのトラックをリピート再生します。
- リピート[リピートALL]：全てのトラックをリピート再生します。
- リピート[オフ]：通常の再生に戻ります。

ひとこと
・MP3とはMPEGオーディオレイヤー３というファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを呼びます。
・ファイル作成時の環境や状態、ディスクの種類などによって、本機で再生できない場合があります。

JPEGファイルの再生

本機はCD-RやDVD-Rに保存したJPEGファイルを、接続したテレビの画面で見ることができます。

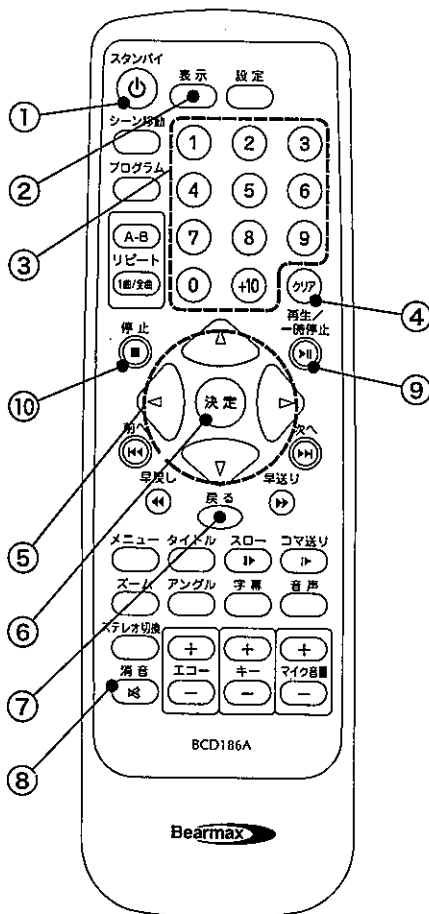
現在のファイル
現在のフォルダ
現在のファイル種類(JPEG)

① JPEGがフォーマットされたディスクを入れると、ディスク情報を読み取ります。 右図のようにテレビ画面に表示されます。

② 再生したいフォルダをリモコンの方向ボタンで選び、決定ボタンを押します。

③ 選択したフォルダのファイル名が表示されます。再生したいファイル名を選び、決定ボタンを押すと再生が始まります。

スキップ再生：	再生中に[次へ／前へボタン]を押すと、次の写真もしくは前の写真がテレビ画面に表示されます。数秒経過すると、自動的に次の写真に移ります。
画像回転：	リモコンの[右方向ボタン]を押すと、時計方向に画像が回転します。[左方向ボタン]を押すと、反時計方向に画像が回転します。
画像反転：	リモコンの[上方向ボタン]を押すと、上下に反転します。[下方向ボタン]を押すと、左右に反転します。
画像縮小・ズーム：	[ズームボタン]を押すとズームモードになります。ボタンを押すたびに、×2、×3、×4、×1/2、1/3、1.4、オフに切り換わります。
スライドショー効果：	リモコンの[プログラムボタン]で、画像切換効果が設定できます。

ひとこと
・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを呼びます。
・ファイル作成時の環境や状態、ディスクの種類などによって、本機で再生できない場合があります。

リモコンは、ディスク操作にのみご使用いただけます。ラジオ、外部入力、カセットテープの操作にはご使用いただけません。

1. スタンバイボタン
本体をスタンバイ状態(電源ランプが緑に点灯)にします。再度押すと起動状態になります。
※スタンバイ状態(準備状態)でも若干の電力を消費します。

2. 情報表示ボタン
ディスクの再生情報を画面上部に表示します。

3. 数字ボタン
再生中にチャプター(DVD)/トラック(CD)を直接指定したり、各設定画面で数字を入力する場合に使用します。2桁の数字を入力する時は、「+10」ボタンを数回押して十の位を入力し、その後一の位の数字ボタンを入力します。

4. クリアボタン
各設定画面やメニュー画面(DVD)で、入力数値などを削除するのに使用します。

5. 方向ボタン
各設定画面やメニュー画面(DVD)で選択箇所を移動するのに使用します。

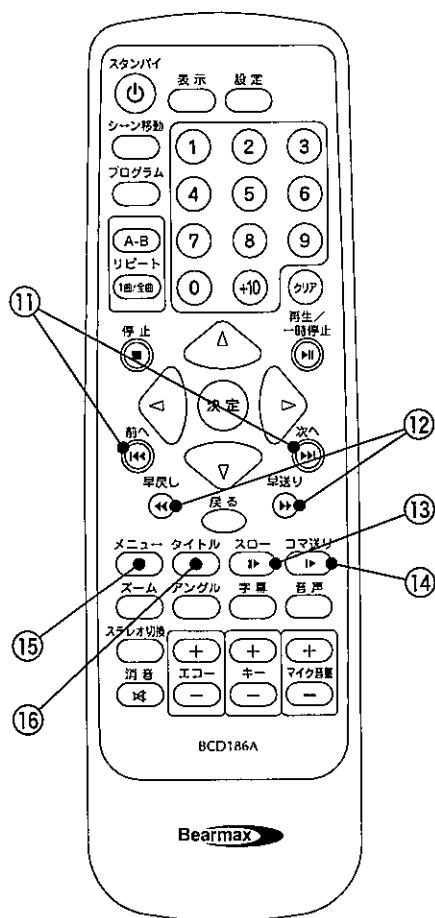
6. 決定ボタン
各設定画面やメニュー画面(DVD)で決定を入力する際に使用します。

7. 戻るボタン
各設定画面で1つ前の項に戻る時に使用します。

8. 消音ボタン
一時的に音声を消すことができます。再度ボタンを押すと元の音量に戻ります。

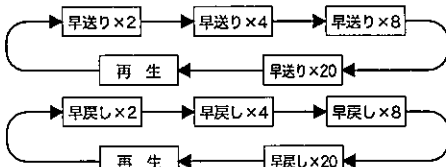
9. 再生/一時停止ボタン
ディスクの再生を始めるとき、または再生を一時停止するときに使用します。

10. 停止ボタン
ディスク再生を停止します。

ひとこと
- **リジューム(停止した位置から再開)について**
  一時停止の状態(再生中に一時停止ボタンを押す)または仮停止状態(再生中に停止ボタンを1度押す)の時に再生ボタンを押すと、一時停止した画面、もしくは仮停止した画面からふたたび再生を始めます。
- 仮停止状態で停止ボタンを押すと本停止になります。
- MP3再生の場合は仮停止状態はありません。

11. 前へ／次へ ボタン

再生中に[前へ][次へ]ボタンを押すと、1つ前または次のチャプター(DVD)／トラック(CD)へ移動します。

12. 早戻し／早送り ボタン

再生中にボタンを押すと、早送りもしくは早戻し再生をします。ボタンを押すたびに下図のようにスピードが変わります。

13. スロー再生ボタン (DVD)

スロー再生をします。

①ディスク再生中にスローボタンを押すと、下図の順番でスロー再生になります。

②スロー再生中に再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

14. コマ送りボタン (DVD)

静止画再生をします。

①ディスク再生中にコマ送りボタンを押すと、静止画面になります。

②コマ送り再生中に再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

15. メニューボタン (DVD)

メニュー画面を表示します。

16. タイトルボタン (DVD)

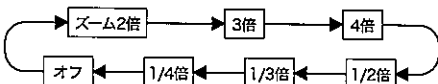
視聴中のタイトルのメニューを表示します。

ひとこと
- お使いになるディスクによって画面表示や操作は異なります。
- ディスクの記録状態によって、操作が無効になる場合があります。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

17. アングルボタン (DVD)

DVDのアングル(見る方向)を切り換えます。
※複数のアングルが記録されたDVDでのみ有効です。

18. ズームボタン (DVD)

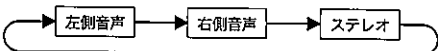
再生中や静止状態でズームボタンを押すと、ズーム再生ができます。 方向ボタンを使うと拡大画面の移動ができます。
ボタンを押すたびに下図のように画面が切り換わります。
※メニュー画面では機能しません

19. 字幕切換ボタン (DVD)

字幕表示の入/切、または複数の字幕が記録されたDVDの字幕切換ができます。

20. 音声切換ボタン (DVD)

ディスクの音声切換ができます。ボタンを押すごとにディスクに記録されている音声が切り換わります。

21. ステレオ切換ボタン (CD)

左側音声のみ・右側音声のみ・ステレオ(左右両方)の切換をします。 2ヶ国語のVCDや、カラオケ用CDGなどを再生するときに使用します。
ボタンを押すたびに下図のように切り換ります。

22. エコー量調節ボタン

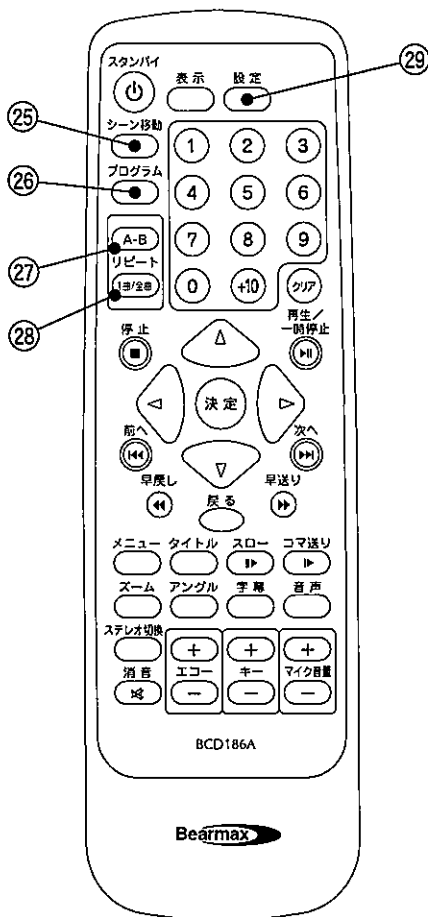
マイク音声のエコー量を調節することができます。

23. キー調節ボタン

キー(音階)を調節することができます。

24. マイク音量調節ボタン

マイク音声の音量を調節することができます。
※本体の主音量(マイク音量調節ダイヤル)がしぼられていると、十分な音量が出ません。 両方を合わせて調節してください。

ひとこと
- フルリモコン/簡単リモコンは、ディスク操作にのみご使用いただけます。 ラジオ、外部入力、カセットテープの操作にはご使用いただけません。
- お使いになるディスクによって画面表示や操作は異なります。
- ディスクの記録状態によって、操作が無効になる場合があります。
- リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

25. シーン移動ボタン（VCD）

再生中のトラックを数秒毎に区切り、画面に一覧表示します。数字ボタンで1つのシーンを選択し、決定ボタンを押すことで、任意の位置から再生することができます。
※この機能が利用できないVCDもあります。

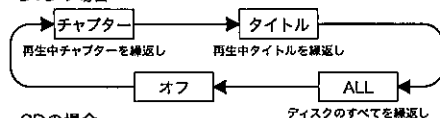
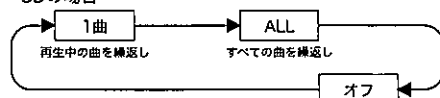
26. プログラム再生ボタン

指定した順番で、チャプター(DVD)/トラック(CD)の再生ができます。
数字ボタンで番号を入力した後、再生ボタンを押すと、プログラム再生を始めます。

27. A-Bリピート再生ボタン

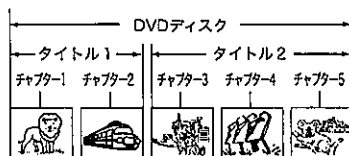
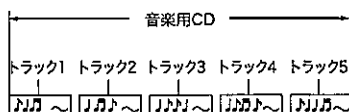
始点(A点)と終点(B点)を設定し、繰り返し再生ができます。

28. 1曲/全曲リピート再生ボタン

繰り返し再生の設定ができます。ボタンを押すたびに、下図のように切り換わります。

29. 初期設定

セットアップメニューの設定ができます。
詳細は、次ページをご覧ください。

ひとこと タイトル、チャプター、トラックについて

DVDは、タイトルという大きい区切りと、チャプターという小さい区切りに分かれています。
音楽用CDは、トラックで区切られています。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号をタイトル番号、チャプター番号、トラック番号といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

初期設定

【設定ページの操作手順】
1. 本体の[機能切換ダイヤル]で「DVD/CD」を選択します。
2. リモコンの[設定ボタン]を押します。
3. リモコンの[左右方向ボタン]を使って設定したい項目を選択し、[下方向ボタン]を押します。
4. 他の設定項目に移動するときは、「設定終了」した後、リモコンの[左右方向ボタン]を押すと、移動ができます。
5. 再度[設定ボタン]を押すと、最初の画面に戻ります。一度設定すると、変更するまで同じ設定が保存されます。

システム設定

・テレビシステム　NTSC

・スクリーンセーバー　一定時間経過後に、画面の焼き付きを防ぐ映像が流れます。

・テレビタイプ　テレビの種類を選びます。

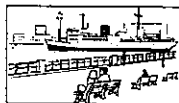
○ 4:3PS/ 4:3 画面テレビ（パンスキャン）ワイド画像は映像の左右をカットして表示

通常のテレビ（4:3）に接続したときに選択してください。
パンスキャンに対応したワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、ワイド画像の一部をカットして再生します。
パンスキャンに対応しないワイド画像（16:9）のディスクではレターボックスで再生します。

○ 4:3LB/ 4:3 画面テレビ（レターボックス）ワイド画像は映像横長のまま、上下は黒く表示。

通常のテレビ（4:3）に接続したときに選択してください。
ワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、レターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

○ ワイド 16:9/ 画面のワイドテレビ

ワイドテレビ（16:9）に接続したときに選択してください。
ワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。
※ディスクによっては、本機でテレビの種類を設定しても、ディスクが指定しているモードで再生される場合があります。
※テレビに出力される映像は、ソフトや接続するテレビによって異なります。

・暗証番号　工場出荷時の設定は“8888”になっています。

・レーティング　視聴規制を設定します。

1 KID SAFE	5 PG-R
2 G	6 R
3 PG	7 NC-17
4 PG13	8 ADULT

・デフォルト　復元：工場出荷時の設定に戻ります。

・設定終了　システム設定を終了します。

言語設定

使用する言語を選びます。

・画面表示言語	英語・日本語
・オーディオ言語	英語 スペイン語 ポルトガル語 イタリア語 フランス語 ドイツ語 オランダ語 日本語
・字幕言語	英語 スペイン語 ポルトガル語 イタリア語 フランス語 ドイツ語 オランダ語 日本語
・メニュー言語	英語 スペイン語 ポルトガル語 イタリア語 フランス語 ドイツ語 オランダ語 日本語
・設定終了	言語設定を終了します。

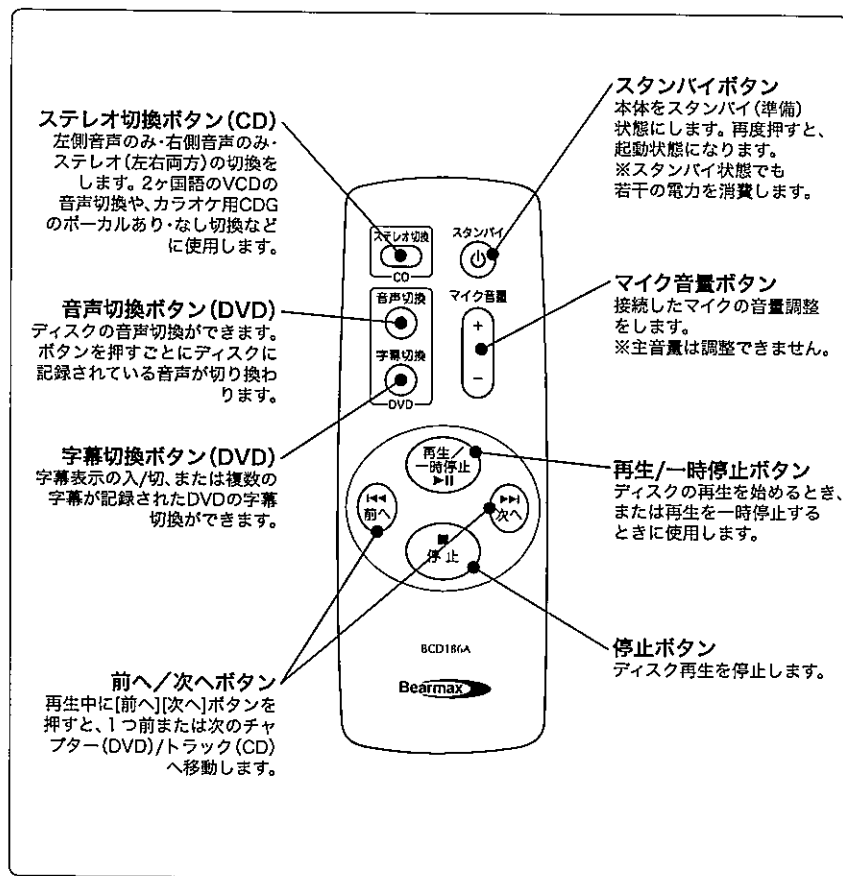
オーディオセットアップ

・音声出力	SPDIF/オフ：アナログ端子でテレビやオーディオを接続しているとき。 SPDIF/RAW：デジタル等のデコーダー内蔵アンプを接続しているとき。 SPDIF/PCM：2chデジタルアンプを接続しているとき。
・マイク設定	AUTO・オフ
・エコー	8・6・4・2・OFF
・マイク音量	8・6・4・2・OFF
・キー	+6・+4・+2・0・−2・−4・−6
・設定終了	オーディオセットアップを終了します。

スピーカー設定

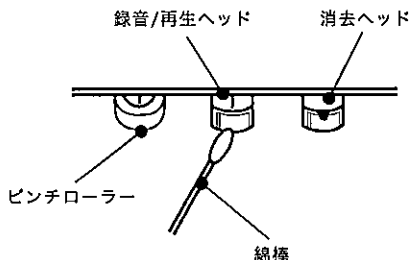
・ダウンミックス	LT/RT：左右ミックスモード ステレオ：通常のステレオ
・設定終了	スピーカー設定を終了します。

簡単リモコン(別売)の使い方

●簡単リモコンは「商品型番：BCD186A」にのみ含まれております。お求めの場合は、保証書にある総発売元へお問い合わせください。
●フルリモコン/簡単リモコンは、ディスク操作にのみ使用いただけます。ラジオ、外部入力、カセットテープ操作にはご使用いただけません。

※クリーニングの前に必ず本機の電源を切ってください。

●本体
乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。(変色や変質の恐れがあります。)

●DVD/CD/MP3プレーヤー・レンズ部のクリーニング
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、再生ができなくなった場合にクリーニングをしてください。
◎ゴミやほこりがついた場合
市販のブロワーでレンズを2、3回吹き、ブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。
◎指紋などがついた場合
ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。
※ご注意
クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。
レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

●カセットレコーダー部のクリーニング
カセットテープを良い音でお楽しみいただくために、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタン(カセット収納部)をいつもきれいにしておいてください。これらが汚れていると、音が歪んだり、小さくなったり、録音できない、などの現象が起こります。このようなときは次の手順で清掃してください。
1. 停止/取出ボタンを押してカセットドアを開けます。カセットテープが入っているときはテープを取り出します。
2. 綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをていねいに拭いてください。
3. ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンが乾いてから、カセットテープをご使用ください。

故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

症　状	対処方法
共通	
電源が入らない	・電源プラグをコンセントに入れてください。 ・乾電池が正しく入っているか確認してください。 ・乾電池が消耗していたら新しい乾電池と交換してください。 ・充電電池はご使用になれません。
音が聞こえない	・音量調節をしてください。
音がひずむ	・消音になっていないか確認してください。 ・音量を小さくしてください。 ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
DVD/CD部	
ディスクの再生が始まらない "ディスクがありません"が表示される	・ディスクが裏返しになっている →文字のある面を上にしてください。 ・本機の切換スイッチを"DVD"に合わせてください。 ・カチッと音がするように、正しくディスクトレイにディスクをセットしてください。(ディスクを軽く手で回転させ、水平に回転するか確認してください。) ・DVDドアーがしっかりと閉まっていることを確認してください。 ・DVDの再生ボタンを押してください。 ・DVDレンズをブロワー(ゴミの吹き飛ばし用ブラシ)で清掃してください。 ・DVDレンズに露(水滴)がついている。 →ディスクを取り出し、DVDドアーを開けて1時間ほどそのままにしておいてください。 ・ディスクが汚れている。→ディスクを清掃してください。 ・ファイナライズ処理(録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生できるようにする処理)がされていないDVD-R/RWは再生できません。 ・DVD-R/RWは、ディスクや記録したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。
ディスクの映像や音が出ない	・VRモードでファイナライズされたDVD-RWは再生できません。 ・付属のオーディオケーブル(赤・白・黄)がテレビと正しく接続されているか確認してください。
ディスクの映像や音が飛ぶ／正常な動作や表示ができない	・テレビの入力切換が外部入力になっているか確認してください。 ・安定した場所に置いてください。 ・ディスクが汚れている →ディスクを清掃してください。

症　状	対処方法
カセットテープ部	
テープが入らない	・テープの露出面を上にして入れてください。
テープが回転しない	・テープをカセットデッキに正しく入れてください。
テープが機械に巻きつく	・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを清掃してください。 ・テープの弛みを直してください。
早送り・巻き戻しが遅い/回転むらがある	・テープの回転具合を確認し、回転の重いテープは使用しないでください。
再生音が小さい/再生音が割れる/高音が出ない/雑音/音が震える/音が飛ぶ	・市販のヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。 ・新しいテープと交換してください。
録音状態にならない 前に録音されている音が完全に消えない	・カセットデッキにテープが入っているか確認してください。 ・誤消去防止用ツメが折れている →ツメの付いているテープと交換するか、セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。 ・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。 ・無理に録音ボタンを押すと破損のおそれがあります。
ラジオ部	
雑音が入る	・周波数を正しく合わせてください。 ・アンテナの向きを調節してください。 ・本機の向きを調節してください。
マイク部	
マイクの音が出ない	・マイクジャックと本機のマイク入力端子を正しく接続してください。 ・マイク本体のスイッチをオンにしてください。 ・本機の音量調節ダイヤルとマイク音量調節ダイヤル、もしくはリモコンのマイク音量調節キーで音量を調節してください。
カラオケのボーカルが消えない(ディスク)	・リモコンの音声切換ボタン、もしくはステレオ切換ボタンの操作をお試しください。 ・ 初期設定の[スピーカー設定]にある[ダウンミックス]を、[ステレオ]に設定してください。 ・ディスクの種類によって、ボーカル音声を消すことができない場合があります。
リモコン	
リモコンで操作できない	・リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換してください。 ・リモコンを本機に向けて操作してください。

製品の仕様詳細

電源	本体:AC100V 50/60Hz/DC12V(単2電池×8本) フルリモコン:DC3V(単4電池×2本) 簡単リモコン:DC3V(単4電池×2本)
本体消費電力	18W
スピーカー出力	2.0W+2.0W
受信周波数	FM:76-108MHz AM:530-1630kHz
周波数特性	CD/DVD:20Hz-22kHz カセットテープ:125Hz-6.3kHz ラジオ:250Hz-6.3kHz
出力端子	アナログAV出力端子 同軸デジタル音声出力端子 光デジタル音声出力端子 ヘッドホン出力端子
入力端子	外部音声入力端子 マイクロホン入力端子×2
サイズ/重量	本体:幅405×奥235×高175mm/3.0kg フルリモコン:幅59×奥187×高25mm/94g 簡単リモコン:幅55×奥140×高26mm/64g

「製品の使い方がわからない!」「故障かな?」と思ったら…

(株)クマザキエイム お客様ご相談センター

(045) 401-7486

月~金 AM9:30 - PM5:45　　土・日・祝祭日 休業

FAX: (045)435-0057　　E-Mail: info@kumazaki-aim.co.jp

〒222-0013 横浜市港北区錦ヶ丘12-17　株式会社クマザキエイム

保証とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。 以下の内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保　証　書

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	DVDラジカセ　商品型番：BCD186A／BCD186S
保証期間	お買い上げ日から1年間　（お買い上げ日　　年　　月　　日）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]

・正常な状態(取扱説明書に従った状態)で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源(電圧、電流、周波数)による故障および損傷は保証の対象外となります。
・保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。

輸入･総発売元：
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17
TEL　：045-401-7486
FAX　：045-435-0057
E-mail　：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp